



第7号発刊にあたって

一般社団法人カリタス南相馬代表理事 幸田和生

この3月で、東日本大震災と原発事故から15年が経ちました。大規模な土木・建設工事による目に見える復興は進みましたが、地震・津波で被災された方々、原発事故で避難を余儀なくされた方々の心の復興は、人それぞれで大きな違いがあります。取り残されている方の姿はますます見えにくくなっているとも言えます。わたしたちカリタス南相馬のミッションは、この地に居続けること、この地の人々に寄り添い続けることであると改めて感じています。

2月28日、村上多美代シスター（写真右上）が膵臓がんのため、名古屋の修道院でお亡くなりになりました。78歳でした。村上シスターは聖霊会の日本管区長として、長年、多くのシスターを南相馬に派遣してくださいました。管区長の任期を終えて2019年から昨年秋まで、ご自身が南相馬に住んで、パステルアートの指導や食事作りなどさまざまな活動をしてくださいました。ご冥福をお祈りしています。なお、聖心会の長谷川和子シスターもこの春、東京の修道院に戻られることになりました。お二人とお二人を派遣して下さった修道会に心から感謝申し上げます。援助マリア会の三人のシスターと聖心会の穎川シスターは引き続き、この地で活動してくださいます。感謝です。

ごあいさつ

カリタス南相馬所長 根本摩利

カリタス南相馬の活動を日々支えてくださっている全国の皆様に心から感謝申し上げます。昨年は、6年ぶりに「カリタス夏祭り」を開催することが出来ました。また、カリタス食堂に参加されている親子を対象に「カリタス食堂・クリスマス会」も開催することが出来ました。どちらのイベントにも聖心女子大学の学生が子どもたち向けの楽しいゲームを考え対応してくれたこともあり、盛会に終わりました。感謝致します。参加された住民の方も音楽イベントを披露してくれた皆さんも素敵な笑顔で楽しく参加されていたのが印象的でした。

今後も地域の皆様と共に歩みながら必要な活動を継続していきたいと思っています。

昨年の10月に福島県社会福祉協議会よりカリタス南相馬のボランティア活動に対して「ボランティア功労賞」を受賞しました。この賞は、全国から来られたボランティアの皆さんへの賞です。心から感謝いたします。

今後も変わらぬご支援とお祈りをよろしくお願い致します。

活動の紹介

一般社団法人カリタス南相馬 2025年1月～12月の活動を紹介します。

1) ボランティアコーディネート事業

①当法人の目的に賛同する方々への宿泊と食事の提供

宿泊を希望するボランティアと現地で学ぶことを希望する方々に宿泊場所を提供しました。宿泊は、2部屋各6名、計12名の宿泊が可能。さらに一階を仕切ることによって15名が宿泊できます。

②ボランティア活動のコーディネート

相双地区の施設や団体及び個人などからのボランティア要請（除草作業、障がい者施設の作業補助など）と、ボランティア活動希望者との活動調整を行いました。



相馬野馬追祭り行列ボランティア

小高工房とうがらし収穫手伝いやコヤギファームの剪定作業などの活動にも参加。毎週土曜日には、旧避難区域である小高区の除草作業も継続しました。毎年継続参加している相馬野馬追祭の行列にも小高神社からの依頼で24名が参加しました。



唐辛子の定植作業

2) 地域コミュニティ支援事業

①地域住民の交流の場の提供や戸別訪問及びイベントの企画運営

南相馬市教育委員会事務局生涯学習課主催の「まちづくり出前講座」への登録を継続。「生伴奏で歌いませんか」「楽器に触れて楽しもう」「パステルアート」の3講座の要請に応えました。



カリタスいこいカフェの様子

これまでに関わりのあった南相馬市に在住する独居及び高齢世帯の方を対象に、戸別訪問を継続。毎月第2水曜日は、小高の災害公営団地の戸別訪問を継続。一人暮らしの方、高齢世帯の方への訪問を行い、安否確認を行うと共に必要に応じて生活支援を行いました。また他団体から

の依頼を受け、必要に応じて物資などの支援を行いました。地域の方に向けたイベントなどの企画・運営も行いました。季節ごとのイベント（カリタス夏祭り、クリスマス会等）も取り入れ、住民の方に喜んでいただくことが



真こころサロンお花見



すすきだ音楽隊コンサート

ができました。毎月第2第4水曜日にはカリタス食堂（親子食堂）を開催しました。定期的に食材や物資のご提供を下された皆様へ心から感謝いたします。定期で行っているサロン活動では、交流イベントを企画して下さるボランティアの皆様と楽しく活動したり、季節ごとに屋外に出かけたりと楽しいひと時を持つことが出来ました。カリタス南相馬協力シスターによる「なんばんひろば」のサロン活動や「パステルアート教室」「英会話教室」なども継続しています。カリタス南相馬主催のコンサートも開催し、

バイオリン・ピアノ・マリンバ・サクソなどの素敵な音色を様々な場所にお届けし、住民の方に喜んで頂くことができました。

① 地域のサロン活動やイベントなどの後方支援

日々の活動を通して繋がりをもつことのできた支援の必要な方に、提供のあった生活用品や衣類などをお渡ししました。小高区の災害公営住宅及び一人暮らしの高齢者を中心に、戸別訪問も継続。戸別訪問の際、聖心女子大学の皆さんが作成した「こころ通信」を隔月でお渡しし、



カリタスバンドのコンサート

3月10日いのちのちの行進に参加



交流の機会となっています。クリスマス時期には学生手作りのクリスマスカードやメッセージカードなどを子育て応援のお子さんや公営団地にお住いの高齢者の方、サロン参加者の方々にお渡しすることが出来ました。社会福祉協議会のサロン活動や地元のサロン活動への参加も継続。ボランティアを派遣して交流を行い、イベントや交流の場作りに協力しました。

3) 情報発信事業

東日本大震災と原発事故による被災地等の案内及び情報発信

東日本大震災と原発事故による放射線災害がもたらした福島での被災地における現状を伝えるための現地案内を行いました。震災遺構となった請戸小学校、東日本大震災・原子力災害伝承館、廃炉資料館、中間貯蔵事業情報センターなどの見学を行うことで地震、津波の被害だけではなく原発事故による被災地の現状を見て頂いたり、住民の方のお話を伺う機会を提供しました。現地のイベントや復興状況などをFacebookやinstagramへ配信したり、「東京教区ニュース」へ毎月原稿を提供することでカリタス南相馬の活動内容や福島の現状報告を行いました。またYouTubeを利用してカリタス南相馬チャンネルの配信も継続しています。



現地案内

4) 災害支援事業

社会福祉協議会と災害時の協定を結んでいるので、災害発生時、南相馬市が立ち上げる災害ボランティアセンターの運営に協力するとともに、連携を取っている技術系のボランティア団体に派遣要請を行うことになっています。災害時のみでなく平時から連携を取っており、年に4回の災害ボランティアセンター連携会議を行いました。南相馬市役所、社会福祉協議会、青年会議所、オペレーション・ブレスリング・ジャパンの担当者の方々と連携を取っています。7月のカムチャッカ半島地震の際には、津波警報が発令されたため当日予定されていたイベントが中止になったり、伝承館が閉館となって急遽予定を変更せざるを得ない事態が起きました。後日行われた連携会議では、津波警報が出された後の各部署における対応がどのようであったかを話し合い、情報共有できたので大変有意義な会議となりました。

災害ボランティアセンター連携会議の様子



昨年は、南相馬市では大きな災害はありませんでしたが、カリタスのとサポートセンターからの依頼を受け、能登の支援活動にシスターを派遣することができました。

スタッフ、シスターは

地域のこのような場所で、 活動しています！

※ カリタス南相馬に滞在してボランティア希望の場合、受け入れ可能について調整が必要ですので事前にご相談ください。(★は「カリタス南相馬」が主催しています)

自立研修所えんどう豆（原町）

さをり織りや缶バッチ製作をしている障がい者施設です。週1回、スーパー店舗前で資源回収をしており、その手伝いをしています。

自立研修所ビーンズ（鹿島）

カフェ、製パンなど就労の機会を提供し支援している障がい者施設です。袋詰めなどの軽作業の見守りをしています。

おれたちの伝承館（小高）

震災と原発事故の記憶を伝えるアートミュージアムです。来客者の案内などを手伝っています。

南相馬市多文化共生センターSAKURA（原町）

市内に住む外国籍の方に情報や交流を提供している施設です。週1回の日本語教室、またイベントなど手伝いをしています。

看護小規模多機能型居宅介護 ナーシングホームつばさ原町

介護および医療的ケアを必要とされる方が利用する施設です。生きる意味を共に探す、傾聴のボランティアをしています。



おだか0円食堂（小高）

小高交流センター子育てサロンにて月2回実施している地域食堂です。食材切りから片付けを手伝っています。

★ カリタス親子食堂（原町）

月2回、カリタス南相馬マリアホールで実施。準備手伝いや配膳、子ども達と過ごすボランティアを募集しています。

★ 真ごころサロン (原町)

毎週木曜日カリタス南相馬に集まり、皆さんでおしゃべりしながら、草履ストラップを作っています。

★ なんぼんひろば (小高)

週2回、小高工房をお借りして、来客される方をお迎えし、情報交流など交わりの場を設けています。

★ カリタスいこいカフェ (原町)

月1回、カトリック原町教会の有志の方が中心となって催される、近隣の方々を対象にしたサロンです。

さくらサロン (小高)

月2回、小高で住民の方が主体的に計画を立てて集まっているサロンです。送迎やイベントなど交流の手伝いをしています。

小高サロン (小高)

社会福祉協議会主催で月1回、小高区の住民を対象に開催。皆さんとの交流の手伝いをしています。



★ 愛唱会 (小高)

月1回、歌うことが好きな人が集まっています。電子ピアノ伴奏で唱歌や替え歌など、歌を通して音楽を楽しむ手伝いをしています。

★ 英会話クラス (小高)

小高交流センターをお借りして、週1回、お茶を飲みながら、英語でおしゃべりを楽しむクラスです。

★ 手芸サークル (原町)

カリタス南相馬において週1回、手芸好きが集っておしゃべりしながら、様々な作品作りを楽しんでいます。



同慶寺清掃結い (小高)

震災後に始まった、境内の清掃を通じた交わりの時間です。毎月1日と15日に行われています。

環境整備手伝い (小高)

避難指示区域だった小高区内で毎週土曜日に有志が集まり、依頼を受けた自宅の草刈り作業などを手伝っています。

コヤギファーム (小高)

震災のため酪農業を続けられず、ブドウ栽培に切り替え、ワイン作りをしています。剪定や収穫など年間を通しての手伝いです。

小高工房とうがらしプロジェクト

震災後、作付けしても野生動物に荒らされるが、唐辛子なら大丈夫。定植や収穫などの手伝いです。唐辛子は加工し製品になっています。

カリタス南相馬 夏祭りに参加して

「NPO 法人 さぼーとセンターぴあ 自立研修所ビーンズ」 職員 萬 和代



2025年8月23日(土)はカリタス南相馬さんの夏祭りで音楽パフォーマンスをしました。当日に向けてのリハーサルでは、汗をかきながらオリジナルのダンス、手話歌、楽器演奏、盆踊りに取り組みました。リハーサルを重ねていくうちに、皆の中で「音楽パフォーマンス頑張ろうね」「夏祭りでかき氷食べたいな」など、わくわくする思いが増していきました。当日、いよいよ出番となり、みんなドキドキしながらステージに立つと、会場から温かい拍手と声援を頂きました。すぐに緊張はほぐれて笑顔と元気な挨拶でパフォーマンスを始める事が出来ました。パフォーマンスの途中、音響機材の故障により伴奏が聞こえなくなるハプニングがありましたが、お客様たちの大きな拍手に背中を押されパワフル全快で歌い踊れました。パフォーマンスを終えた皆は「今日は楽しかったなあ」「出店の食べ物、全部おいしかったね」「お客さんが来てくれて嬉しかった」「また来年もパフォーマンスしたい」「とってもいい一日



だったね」と思いを言葉にして達成感も味わいました。今回、音楽パフォーマンスを通して大勢の地域の方達と出会い、「さぼーとセンターぴあ」の仲間たちを知って頂ける機会に恵まれた事は法人にとって大きな喜びと幸せになりました。感謝です。これからも、「さぼーとセンターぴあ」は社会とつながり、仲間一人一人が持つ力、生き生きとした姿をたくさん発信していきたいです。

「カリタス食堂・クリスマス会」



日頃、カリタス食堂を利用されている親子向けに「カリタス食堂クリスマス会」を開催しました。内容は、カリタス食堂で美味しいお昼ご飯(チキンライスと唐揚げ)を食べた後に、聖堂で幸田司教による「クリスマスのお話」を聞きました。その後、聖心女子大学の学生がリーダーになってゲームを楽しんだ後に、ケーキでお祝いし最後にサンタクロースからプレゼントを頂いて帰るというものでした。いつもカリタス食堂にはお母さんと一緒に参加していますが、この日はお父さんも一緒に参加されている親子もあり、家族全員で楽しむ姿はとても微笑ましく感じました。ケーキも子ども用とは別に大人用も準備していたので大人も喜ばれていました。ホールが広く部屋が複数



数使える為に食事をするだけでなく、食べ終わった子ども達が室内やグラウンドで自由に遊びまわること、また子ども達が自由に遊んでいる間に親同士でゆっくりお話が出来ることはカリタス食堂の特徴ですが、このクリスマス会でも遊び回る子ども達の姿と、別の部屋では親同士で話す姿もあり、カリタス食堂のクリスマス会らしいと感じました。

カリタス南相馬 職員研修



2025年の職員研修は、会津にある「柳津西山地熱発電所」と三春町にある「コミュタン福島」の見学を行いました。特に「地熱発電所」については、原発事故後の再生エネルギーについて日頃から考える機会が多いだけに、その発電の仕組みや課題などをとても興味深く学ぶことが出来ました。地中のマグマで高温になった地熱流体を利用した蒸気でタービンを回し発電する仕組みは、火山国日本では大いに活用できる方法だと思います。観光地や温泉地への影響が課題とは言え、二酸化炭素を出さず天候にも左右されず年間を通して安定して供給できる発電所を増やしていける方法は十分にあるのではないかと感じます。こうした現地へ赴き学ぶことは、再生エネルギーへの可能性を諦めてしまわない意識を培ってくれる良い機会になりました。



「第2回 見さ来う 南相馬」に参加して

福島大学 特任准教授 高瀬つぎ子



2025年11月22～24日、カリタス南相馬で行われた「第2回 見さ来う 南相馬」に参加させていただきました。京都から2名、秋田から1名、そして福島県内から1名という小さなアットホームな集まりでしたが、幸田司教様はじめ「カリタス南相馬」のスタッフの皆様の温かなご配慮のなかで、たいへん有意義な時間を過ごさせていただいたことに、心から感謝しております。本当にありがとうございました。

東日本大震災そして東京電力福島第一原子力発電所の事故から15年を迎え、国のエネルギー政策が「原発再稼働容認」へ大きく舵を切る中で、一般市民が「福島原発事故後の被災地の現状と問題点」についての正確な情報を得る機会が、非常に少なくなっております。そんな中、今回の「見さ来う 南相馬」では、「東京電力廃炉資料館」「東日本大震災・原子力災害伝承館」や「中間貯蔵事業情報センター」など、国などが主導して運営されている原発事故関連の情報発信施設だけでなく、「請戸小学校遺構」や「俺たちの伝承館」などの地元自治体や民間の方が運営されている施設を見学させていただく中、地元に住んでいらっしゃる皆様が「巨大地震とそれに伴う津波災害」そして「原発事故による数年から10年を超える長期間の避難生活」という大変困難な状況の中で生活してこられた道程の一端を肌で感じる事ができました。そして、参加者それぞれが今回の集いで体験し、感じた想いを分かち合う中で、「【東日本大震災に伴う福島原発事故】からの復興は始まったばかり！（まだ、ほとんど進んではない！）」という現状をしっかり認識し、【福島原発の廃炉や中間貯蔵施設の今後の方向性】などに関する様々な問題に関心を持ち続けることの大切さを改めて、深く心に刻みました。



—2026年「Come and See 福島」のお知らせ—

2026年は「見さ来う 南相馬」を『Come and See 福島』として下記の日程で実施します。

※第1回:6/24(水)～6/26(金) ※第2回:11/21(土)～11/23(月)

詳細は「カリタス南相馬」までお問い合わせください。

カリタス南相馬は

- ・東日本大震災と原発事故により、困難な状況におかれている人々とともに生き、すべての人々の尊厳が尊重される社会を目指します。
 - ・福島第一原発から25kmにある場として、福島の実態とそこに生きる人々の思いを世界につなぎます。
 - ・地球環境を大切に、自然との共存を目指します。
- ① 地域コミュニティの再創造に向け、地域の人々とともに働きます。
 - ② 原発事故がもたらした福島 of 厳しい現状と地域の日常の変化、いのちの尊さを学び、ともに祈り、伝えます。
 - ③ 自然とともに生きる暮らしの実現に向けて、生活を見直します。

2025 年度会計報告		
(2025 年 1 月 1 日から 12 月 31 日まで) (単位:千円)		
収入の部	金額	備考
受取会費	1,385	
受取寄付金／受取寄付金振替額	6,235	
受取助成金／受取助成金振替額	4,999	
受取利息／雑収入	89	
① 収入計	12,710	
支出の部	金額	備考
事業費(各事業費には、人件費含む)		
ボランティアコーディネート	6,739	
コミュニティ支援	4,368	
情報発信	4,480	
災害支援	1,519	
管理費	2,403	
② 経常費用計	19,512	
③ 当期一般正味財産増減額	△6,801	①-②
④ 一般正味財産期首残額	77,905	
⑤ 当期指定正味財産増減額	147	
⑥ 指定正味財産期首残額	6,880	
⑦ 正味財産期末残高	78,132	③~⑥計

<カリタス南相馬 賛助会員 募集中>

カリタス南相馬の活動を経済的にサポートして下さる賛助会員を募集しています。

入会金 無料 年会費 一口5,000円 一口以上
 会員特典 年1回発行のニュースレターを送付。

入会方法 カリタス南相馬にご連絡頂くか、下記振替口座に氏名、住所、電話番号、賛助会員入会、口数をご記入の上、年会費をお振込みください。その他の寄付金も下記口座にお願い致します。

郵便振替口座 口座番号 02230-2-127643

口座名義 一般社団法人カリタス南相馬

ゆうちょ銀行二二九店 当座 (0127643)

あたたかいご支援ありがとうございました。

目標 : 賛助会員5000人

賛助会員: 435人 支援金: 212件

カリタス南相馬だより 第7号

2026年4月1日発行

一般社団法人カリタス南相馬 発行責任者:幸田和生

〒975-0006 福島県南相馬市原町区橋本町1-15

TEL 0244-26-7718 FAX 0244-26-8007

E-mail: info@caritasms.com <https://caritasms.com/>

<https://www.facebook.com/caritas.minamisoma>